

# ご挨拶

## 未来に託せる 持続的なまちづくり

只見町長 渡部 勇夫



明けましておめでとうございます。

令和六年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年は、国際的にみれば、一昨年から続く物価高や円安に加えて、中国の半導体素材の輸出規制による品薄や高騰等、国内消費者に厳しい年となりました。

国内では、福島第一原発の処理水の海洋放出が八月から開始されましたが、中国等が日本産水産物を輸入規制し、水産業が大きな影響を受けました。

また、中古車販売業者による保険金不正請求や悪質な闇バイト強盗の横行、クマの全国的な出没増加により被害が多発するなど、様々な事件事故のニュースが報道されました。

一方、新型コロナウイルスは五月から、感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の5類へ移行され、人々の往来も活気を取り戻しました。

只見町においては、一昨年十月に関係各位の絶大なるご支援のもと只見線が全線運転再開してから一年余りが経過しましたが、この間、全国から多くの皆様に只見線で訪れて頂いております。只見駅前には、賑わいエリア「只見線広場」を全線運転再開に合わせ整備しましたが、二年後に開通が見込まれます国道二八九号八十里越道路からお越しになるお客さまも含め、より多くのお客様をお迎えし、只見町の魅力を感じていただけるよう、只見線広場

の拡充整備計画に着手してまいります。

また、只見町観光まちづくり協会の無くなり、会津ただみ振興公社に観光案内等業務を引き継いでいただいておりますが、只見線を利用した旅行プランの提供など町内で消費していただくよう、これまで以上に誘客面に力を入れる必要がありますので、その体制整備も進めてまいります。

只見町は人と自然の共生をまちづくりの根幹に掲げています。未来の子どもたちに託せる持続的なまちづくりを目指してまいります。

ユネスコエコパークの三つの目標のうち、「持続可能な環境・資源の利用と地域経済の発展」の取組として、これまで薪エネルギーの活用を模索してまいりました。昨年は、薪材を受け入れる「薪ステーション」が整備完了し、薪製造供給の体制整備も進んでおりますので、町内施設へ薪ボイラーを整備し、人工林の整備と利活用につけてまいります。

子育て対策においては、今後多様化する教育・保育のニーズに対応するため、認定こども園の設置を目指し取り組んでまいりました。保護者の皆様との理解を深めながら、まずは現施設による認定こども園への移行を図ってまいります。

農業においては、只見地区と梁取地区の圃場整備工事が着手いたしました。国庫予算の割当が流動的であり全体工期が延びる懸念があることから、農家のやる気が削がれることの無いよう国

や県に予算の確保を働きかけてまいります。そして、重点振興作物等が持続的に経営できるよう支援してまいります。また、農作物等への鳥獣被害が多発していることから、人里への鳥獣侵入を抑制するため緩衝帯整備への新たな支援を行ってまいります。

商工業においては、プレミアム商品券を効果的となるよう商工会と協議しながら発行し地元商店の振興と町民の皆様への生活応援をしてまいります。また、商工会各部会との意見交換を行い、それぞれの業種に合った支援制度を共に考えていくとともに、今年は事業主の後継者不足を踏まえ、事業承継者への支援も行ってまいりたいと考えております。

医療・保健・福祉・介護・生活支援においては、引き続き体制の充実に努めてまいります。

特に昨年四月から成年後見制度利用促進室を設けており、重層的支援体制の整備を進めてまいります。

大まかな事柄を申し上げましたが、改めて町民の皆様、並びに町議会のご理解をいただかなければ何ひとつ成し得ません。心からのお力添えをお願い申し上げます。

年頭にあたり所信の一端を申し上げますとともに、本年が町民の皆様にとりまして良き年でありませうご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



# 新年の



只見町議会議長 大塚 純一郎

## 開かれた 議会運営をめざして

あけましておめでとうございます。令和六年の年頭にあたり、只見町議会を代表し謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより、議会活動に對しまして、深い御理解と御協力を賜り心より感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行となり、長かったコロナ禍からようやく明るい兆しが見えはじめ、社会経済活動の正常化が進みつつあります。また、このコロナ禍における歳月により、働き方、個人の生活様式や価値観といった、従来の社会システムが大きく変わっております。この変化をしっかりと見据え、今までの規範に縛られない新たな時代に柔軟に対応し、切り拓いていかなければならないものと強く感じております。

さて、昨今の世界情勢は、エネルギーや食糧問題をはじめ、ウクライナやパレスチナでの武力衝突など不安定な状況が続いております。また、地球温暖化を超えた異常気象は、地球沸騰化と言われ、災害リスクの高まりや農業生産に影響を及ぼすなど、世界経済への影響が懸念されております。

日本経済においても、長期化するウクライナ情勢により、エネルギー資源や穀物の価格が上がり、追い打ちをかけた急激な円安は、輸入コストを増大させ、物価が上昇するなど、私たちの生活に大きな影響を及ぼしており、今後も食糧やエネルギー価格の高騰は長引くことが予想されます。

町内では「コロナ禍」において、少子・高齢化による人口減少や、労働人口の減少など、当町が直面する本質的な課題が一気に表面化してきております。また、人と人との交流機会が減少したことにより、地域のつながりの希薄化がさらに進み、地域活力の低下が危惧されております。さらには、国道二八九号、八十里越道路の開通に向けた経済対策や環境づくりをはじめ、子育て支援対策など、課題が山積しております。課題解決に向けた取り組みを早急に進めていかなければなりません。

特に、少子高齢化に対する問題意識は、地方のみならず全自治体の対策課題であり、国策と連動し、地域に即した事業展開が重要と考えており、子供たちが飛躍するための環境づくりは、私たちの役目であり、意識して努めていかなければならないと考えております。いずれも大変難しい課題でありますが、町当局と十分議論し、課題の克服へ向け邁進してまいります。

今年、三月に町議会議員選挙、十

一月には町長選挙が行われます。町民皆様の積極的な参画をいただき、町政の更なる前進のため努力していかねばならないと考えております。

議会は、二元代表制の一翼を担う立場として、町民の皆様に代わる意思決定の役割を担っており、町民の意見を反映する開かれた議会運営をめざして、町当局の提案する施策や予算を慎重に審議・決定すると共に、適正に執行されているか監視し、効果の検証に努めて参ります。また、議会活動の充実と活性化を図るため、議員間の活発な議論を行い、共通理解を深めることを目的に「自由討議実施要綱」を議決し、町政課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

議会と町当局は、相互の役割を尊重するとともに、切磋琢磨しながら町民生活の向上と町発展のため全力を尽くして参りますので、町民皆様の一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、大きく飛躍する年となり、明るく実りあふれた素晴らしい一年となりますよう御祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

